

貸借対照表

2024年 3月31日 現在

中部電力グランドワークス株式会社

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	196,800,904	流動負債	16,489,121
現金及び預金	157,588,344	未払金	462,000
売掛金	35,496,717	未払費用	12,866,437
前払費用	956,770	未払法人税等	249,700
未収入金	2,758,980	未払消費税等	2,411,500
未収還付法人税等	93	預り金	499,484
固定資産	7,257,541	負債合計	16,489,121
有形固定資産	1,949,571	純資産の部	
建物	415,310		
工具器具備品	1,534,261	純資産の部	
無形固定資産	1,350,600		
商標権	285,000	株主資本	187,569,324
ソフトウェア	1,065,600	資本金	100,000,000
投資その他の資産	3,957,370	資本剰余金	100,000,000
長期投資	10,000	資本準備金	100,000,000
繰延税金資産	3,947,370	利益剰余金	△12,430,676
		その他利益剰余金	△12,430,676
		繰越利益剰余金	△12,430,676
		純資産合計	187,569,324
資産合計	204,058,445	負債及び純資産合計	204,058,445

個 別 注 記 表

自 2023年 10月 2日 至 2024年 3月31日

中部電力グランドワークス株式会社

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産 … 定額法
- (2) 無形固定資産 … 定額法

2. 収益及び費用の計上基準

損失補償に関するコンサルタント事業に係る収益は、受託業務によるサービスの提供であり、契約に基づいたサービスを行う履行義務を負っております。当該履行義務は、サービスの完了を顧客が確認することで当該受託契約が充足されると判断し、業務の完了検査をもって収益を認識しております。

(会計上の見積りに関する注記)

会計上の見積り

(1) 見積りを計上した項目及び計上した額

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりです。

繰延税金資産 3,947,370円

(2) 会計上の見積りの内容に関する理解に資する情報

繰延税金資産の認識は、将来の事業計画に基づく課税所得の発生時期及び金額によって見積もっております。当該見積りは、将来の不確実な経済条件の変動などによって影響を受ける可能性があり、実際に発生した課税所得の時期及び金額が見積りと異なった場合、翌事業年度の計算書類において、繰延税金資産の金額に重要な影響を与える可能性があります。

(貸借対照表等に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額 81,429円

2. 関係会社に対する金銭債権・金銭債務

短期金銭債権 38,220,391円

短期金銭債務 2,731,553円

(損益計算書に関する注記)

関係会社との取引高

営業取引による取引高

売上高 48,210,418円

仕入高 5,176,570円

営業取引以外の取引による取引高

資産購入高 2,564,000円

(株主資本等変動計算書に関する注記)

当事業年度の末日における発行済株式の数 普通株式 20,000株

(税効果会計に関する注記)

1. 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、グループ通算制度を適用しており、グループ通算制度を適用する場合における法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示の取り扱いを定めた「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号2021年8月12日)に従っております。

2. 繰延税金資産の発生の主な原因

繰延税金資産の発生の主な原因は賞与引当未払費用であり、回収可能性が認められないものには評価性引当額を控除しています。

(収益認識に関する注記)

収益を理解するための基礎となる情報は、「(重要な会計方針に係る事項に関する注記) 2. 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

なお、約束された対価は履行義務の充足時点から概ね1ヶ月で支払いを受けております。

(1株当たり情報に関する注記)

1. 1株当たり純資産額 9,378円47銭

2. 1株当たり当期純損失 621円53銭